

6011-1239

平成29年6月19日

各関係機関の長  
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

平成29年度病害虫発生予察特殊報第1号について  
平成29年度病害虫発生予察特殊報第1号を発表したので送付します。

---

### 平成29年度病害虫発生予察特殊報第1号

1 病害虫名:トルコギキョウ斑点病

2 作物名:トルコギキョウ

3 病原菌:*Pseudocercospora eustomatis*

4 発生の経過

平成28年11月中旬に、県北部の施設トルコギキョウにおいて、葉に灰褐色のすすかび状斑点を生じる病害が発生した。病斑部より菌を分離し、門司植物防疫所に同定を依頼したところ、県内未発生のトルコギキョウ斑点病であることが確認された。

本病害は平成20年に福岡県で初めて確認された後、平成28年に高知県、大分県、熊本県で発生が確認されている。

5 病徴

はじめ、葉に5～10mm程度の黄斑を生じる(写真1)。その後、黄斑部の葉裏には、灰褐色のすすかび状菌体が形成され、やがて葉は枯死する(写真2、3)。

6 病原菌の形態及び生態

糸状菌の1種で不完全菌類に属する。分生子は0～8個の隔壁を有し、倒棍棒形、淡オリーブ色～淡褐色を呈している(写真4)。生態や伝染環についての詳細は不明であるが、本病害は育苗中の苗および本ぼで発生し、被害葉上に形成される分生子により伝染、多湿条件で多発生するものと思われる。

7 防除対策

本病害に対する登録農薬はないため、多発生してからの防除は困難である。したがって、発病を確認した場合は、発病株および発病葉をすみやかに除去し、ほ場外に持ち出して感染源とならないように適切に処分する。また、ほ場内が多湿条件になると感染を助長すると考えられるので、ほ場内の換気に努める。



写真1 発生の様子(葉に黄斑を形成)



写真2 発生の様子(すすかび状菌体を形成)



写真3 葉裏の病斑部の拡大



写真4 病斑部に形成された分生子

《連絡先》

宮崎県総合農業試験場病害虫防除・肥料検査課

(病害虫防除・肥料検査センター) 久野

TEL : 0985-73-6670 FAX : 0985-73-2127

E-mail : byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp